

# 北海道 高P連だより

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番 第二北海道通信ビル7F  
TEL (011) 232-0007 FAX (011) 232-0006  
URL: <http://www.hokkaido-koupren.com/>

## 今号の内容

- ▶ シリーズ北の志
  - ・函館ラ・サール高校
  - ・真狩高校
  - ・登別明日中等教育学校
  - ・白石高校
- ▶ 定通生活体験発表
- ▶ 支部だより 後志・釧路

函館ラ・サール高等学校

大阪花園の  
全国大会出場



南北海道代表

花フェスタ2015 in 札幌  
Let's enjoy SL garden!

北海道真狩高等学校



## Heart to Heart 北の志

ひたむきに頑張る君たちを応援したい

北海道札幌白石高等学校

開校40周年  
おめでとう!

平成28年度より  
新制服になります



スーパーグローバル  
ハイスクール

北海道登別明日中等教育学校



オーストラリアにて現地学生と  
ディスカッション





## 函館ラ・サール高等学校

教頭 齋藤 瑞木

本校は、ローマに本部を置くラ・サール修道会によって1960（昭和35）年設立された、カトリックの男子校です（中学校は1999（平成11）年に開設しました）。校名は、17世紀のフランスを生き、聖ジャン・バプティスト・ド・ラ・サールに由来します。聖ラ・サールは学校教育による社会の改革を志し、私財や栄職を捨てて生涯を青少年の教育に捧げ、近代教育に偉大な功績を残しました。その精神にもとづく学校が本校です。

本校の根本的な理念の一つに「ファミリー・スピリット」があります。これは、学校を一つの家族としてとらえ、そこに集う生徒・教師は互いに慈愛と尊敬の念をもって接し合おう、という考え方です。もちろん保護者の方々や多くの卒業生などもファミリーの一員です。多くの学校行事で献身的に協力してくださる保護者のみなさまに感謝の念は尽きません。本校はこのような大きな家族「ラ・サール・ファミリー」で成り立つ学校です。進学校のイメージが強調されがちな



本校ですが、このような精神の豊かさを育む教育が土台となっている学校なのです。

生徒たちは、函館市内近郊はもちろんのこと、全道・全国から集まっています。そのうち、函館以外の生徒は全体の約55%を占め、彼らは学校に隣接する寮で3年間を過ごします。親元を離れての集団生活は、「人間力」を大いに鍛えることになるでしょう。また、本校はクラブ活動もさかんで、同好会も含めると40以上のクラブがあります。ほとんどの生徒は何かのクラブに属しています。今年度も運動系・文化系あわせて20以上の

クラブが全道大会に進出しました。本校では学業成績が振るわない者は各種大会に出場できないという規定があります。ゆえにクラブ活動に一生懸命に取り組む生徒は、学業にも一生懸命に取り組んでいます。今年度はラグビー部が北海道代表として大阪・花園での全国大会に出場しました。目の前のことに全力で取り組むという姿勢が花開いた証の一例ではないかと思えます。メディアでも多く取り上げていただいて、PTA・同窓会・後援会を中心に多くの方々から熱い声援をいただきました。残念ながら初戦で敗退してしまいました。この場を借りてあらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。



## 北海道真狩高等学校

教頭 重堂 法人

昭和23年に開校した定時制課程一問口、全校生徒数98名の小規模な農業高校である。入学生徒も地元ばかりではなく生徒の約6割は、札幌出身の子供達を受け入れている。

## 新しい農業教育の推進

## (1)コース再編の取組み

平成25年度入学生からコースカリキュラムを一新した。時代の変化や現在の生徒の実態に合わせて、従来の「バイオ園芸」、「生活情報」から「有機農業」、「野菜製菓」にコースを再編した。栽培から製菓、陳列、接客、販売を体系的に学習している。

## (2)有機農業コース

有機JAS認定の野菜を栽培することで時代に即した



た農業教育を展開している。慣行農業と有機農業を学べる学校として、有機農業の試験センターとして情報発信の場となることを目指している。現在、イチゴやトマト、ホウレンソウを販売し、地元以外にも札幌圏に出荷している。

## (3)野菜製菓コース

学生のニーズに対し、製菓を学習できる学校が少ない状況にある。本校では地域の豊富な農産物を利用した製菓に村立高校としての可能性が広がると考えた。有機栽培を通して素材の特性を見極められる「素材のわかるパティシエ」として製菓衛生師の中で差別化を図りたいと考えている。また、各種コンクールでも上位入賞を果たした。

## (4)高校生力フエ

「ベジタブルスイーツで想いを形に！真狩村が育てる次世代高校生パティシエ」という内容で、「地域



活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）交付金により真狩村道の駅に高校生スイーツカフェが開店、月2回、年間24回のスイーツ販売を行い、多くの住民や観光客が来店し、マスコミに多く掲載して頂いた。

## (5)UDSスイーツ開発

アレルギー対応のスイーツ（ユニバーサルデザインスイーツ）の開発を地域の関係機関と連携して行っている。小麦や卵、牛乳などアレルギーの原因となる食材を使わないスイーツを研究している。

## (6)夢の実現

野菜製菓コースの一期生全員が製菓衛生師試験に合格を果たした。3年生32名のうち、学んだ専門教育を活かした進路選択者は、有機農業コースは4名、野菜製菓コースは12名となり、5割の生徒が専門を生かした進路に進む。



## 北海道登別明日

## 中等教育学校

教頭 田中 幹也

本校は、平成19年に北海道唯一の中等教育学校として開校し、今年で10年目を迎えます。まだ歴史の浅い学校ではありますが、開校の精神「明日を創る」のもと、保護者や地域の方々のご協力とご支援をいただきながら、「高い知性」「豊かな人間性」「健康な心身」「郷土愛と国際性」を身に付けた生徒の育成に取り組んでいます。

## 1 特色ある教育活動

## (1) 国際理解教育、外国語教育の重視

オールイングリッシュで行う英会話の授業、選択科目「基礎中国語」の開設、2名のALTの常駐、コンピュータを利用した外国語学習、アメリカ・カナダへの見学旅行等に取り組んでいます。

また、昨年度から文部科学省のスーパーグローバルハイスクールの指定を受



け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を目指す特別で先進的な取組を行っています。  
(2) 多様な体験活動等の促進  
中高一貫の特色を生かして異年齢生徒との交流の機会を多く設けるほか、プロによる音楽・演劇鑑賞等の「本物」に触れる教育を推進しています。



## (3) 地域や北海道の良さを学ぶ学習活動の促進

選別の地域性を生かした選択科目「国際観光学」を開設しています。また、地域の人材や施設等を活用した調べ学習等の学習活動を行っています。

## (4) 地域と連携した教育活動の推進

室蘭ユネスコ協会の活動への協力や「世界食料デー登別大会」など、地域行事に参加しています。

## 2 PTAの取組

本校PTAでは9名の役員を中心に、育成、研修、広報の3つの常任委員会が生徒の「学び」や「育ち」を支える取組を行っています。会員の皆さんはとも協力的で、活発な活動が展開されています。



## (1) 育成常任委員会

5月に生徒とともにプランターに花を植える「花いっぱい運動」や、文化祭のバザーの食券販売、体育祭の昼食（豚汁）づくり、近隣地区に出向いて行う地区別懇談会への協力などを行っています。

## (2) 研修常任委員会

子育てに関する研修会や研修旅行の企画・運営をしています。今年の研修旅行は千歳市等でソーセージづくり体験や醤油工場の見学をしました。また、学年ごとに茶話会を企画・運営しています。

## (3) 広報常任委員会

年に2回、広報誌「明日の空」を発行しています。趣向を凝らした誌面は、保護者生徒ともに大好評です。

そのほか、文化祭や体育祭などの学校行事に対して多くの会員に協力いただいています。

## 3 10周年に向けて

現在、10周年に向けて、記念事業の協賛会を立ち上げ、準備を進めているところです。10月8日(土)に予定している記念式典・祝賀会においては、PTAや同窓会など、多くの方々と力を合わせて取り組み、本校に関わりのある皆様と共に素敵な時間が共有でき、心に残る思い出深いものを創りあげたいと考えています。

## 北海道札幌白石高等学校

教頭 佐藤 渉

本校は、地域の要望を受け昭和52年に開校された学校で、平成28年度には開校40周年を迎えます。平成21年度には普通科単位制となり、「創造」「自主」「友愛」の校訓の基、教育目標である「自ら深く省察する生徒たれ」を実践すべくPTAと共に実りある教育活動を実践しています。

本校の特色あるPTA活動の取組を紹介いたします。

## 【特色あるPTA活動】

## 1 学校祭への協力

学校祭においてはPTAが出店し、コロッケを揚げて販売しています。多くの保護者の皆様の協力をいただき、今年度は予想以上の盛況で予定していた販売数を上回り、追加注文をするほどでした。いい香りに満たされた会場には長蛇の列ができ、多くの方が揚げたてのコロッケを楽しんでいました。

## 2 研修旅行

9月には、研修旅行を企画し、今年度もたくさんの



保護者の方が参加しました。工場見学をした後、お昼にはビュッフェでおいしい食事をいただきました。その後体験活動で「たまつくり」という方法で陶芸作品の製作をし、皆さん楽しんでいました。



## 3 研修会（料理教室）

10月には、講師の方をお招きし、料理教室を開催しました。今年度は魚料理と



いうことで、メニューは「イカめし」「しめ鯖」「石狩鍋」「ホイル焼き」で、料理後はもちろんおいしくいただきました。

## その他

その他にも、PTAによる様々な活動が行われています。今年度は悪天候及び野球全校応援とのブッキングで中止になりましたが、生徒の登校状況を見守る登校視察を行っています。また、12月には劇団による演劇を鑑賞する企画などがあり、多くの皆さんが参加されています。その中で保護者どうしの交流が図られ、さらには教職員との連携が推進されています。この連携により、白石高校の教育活動が更に充実することを望みます。



## 第59回道高校定通生徒生活体験発表大会

最優秀賞

## 挫折から希望へ

北海道札幌工業高等学校 三年 村岡 錬 磨



「痛！」

中三の夏。陸上の全道大会、棒高跳びの決勝前の練習中のことだった。棒の突き方が悪く、右手の薬指をケガしてしまった。痛くてうまく握れない。力が入らない。それでも跳んだが、記録無しに終わった。...

中学一年生から始めた陸上。二年生から棒高跳びを始めた。その年、新人全道大会にも出場できた。三年生になると、中体連で3メートルという記録で、札幌市全体で五位。全道大会出場が決まった。その全道大会。前日の予選は突破しての決勝当日。...ケガにより、記録無し。...悔しかった。...

僕が札工を選んだ理由は二つある。その一つが、棒高跳びを続けられること。

あの悔しさをなんとかして晴らしたかったからだ。実は、高校で棒高跳びができる所は少ないんですよ。札工全日製の陸上部は、その数少ない棒高跳びができる高校だったのだ。

もう一つは祖父のアドバイスだった。小さい頃からモノを作るのが好きだった僕に対し、祖父が札工を教えてくれた。勉強だけでなく、モノ作りを、授業の中で学べる学校があると分かって、すごくワクワクしたことを覚えている。棒高を続けられる、更にモノ作りを学べる。これ以上の選択はないと、僕は札工全日制への受検を決めた。...

きつとどこかに甘さがあったのだと思う。まさか落ちるはずはないと高をくくっていたのかもしれない。...受検失敗。...受かると思いついていたので、他の学校は受けていなかった。また、モノ作りへの思いがあったので、普通科へは、

行くつもりはなかった。結局、二次募集で札工定時制へ入学。...

つらかった。棒高跳びでのリベンジ？定時制には陸上部そのものがなかった。...

全日制しか考えていなかったもので、定時制になじめなかった。5時35分から9時10分までの夜の授業。まず、これになじめなかった。制服がないことで、高校生になったという実感もわかなかった。次第に生活リズムが乱れてきた。徐々に朝起きるのが遅くなっていった。

そんな僕の姿を見かねてだと思いが、両親に勧められて、父が経営している会社で働くことになった。高一の夏前のことだった。学校にもなじめず、生活も乱れ始めた中で働き始めたので、これはきつかった。生活の立て直し。これは、慣れるまで、時間的にきつかった。でも、もっ

と大変だったのは仕事の方だった。土木の仕事で建築の基礎作り。休みは日曜のみ。自分の時間はほとんどない。仕事が終われば疲れでぐったり。初めのうちは、勉強には手をつけられず、倒れるように寝込んでしまう日々が続いた。

ケガもした。手や首のあたりに何針か縫うケガもした。夏は熱中症で倒れたこともあった。冬は寒い中での手作業や、除雪作業もつらかった。

しかし、どんなにつらくても、父のいる会社なので逃げ出すわけにはいかなかった。だから、生活の中心に仕事を置いて、まず、仕事に慣れるようにがんばった。そのかいあって、少しずつが学校との両立もできるようになっていった。...

そんな一年の10月、担任の先生から、副会長として生徒会に入らないかと誘われた。まだ、仕事と学校の両立も、満足にはできていない中、引き受けて大丈夫だろうかという不安はあったが、生徒会には興味があったので、引き受けることにした。

甘くはなかった。札工定時制は全校生徒176名という大所帯。仕事も多かったし、大変だった。生徒会の行事で大きなものは、学校祭・体育大会の二つだが、リーダー研修会もあるし、細々とした色々な仕事がある。一年生として、副会長の役は荷が重かった。会長をサポートするべき立場だが、逆にいつもサポートしてもらっていた。それでも、与えられた仕事は、時間がかかってもやり通していった。...

そうして一年がたち、ある時、会長と生徒会顧問の先生から、次の生徒会長になつてくれないかと声を掛けられた。...正直、ものすごく、うれしかった。...というのは、たとえ、すぐにはうまくいなくても、いつも目の前にあることに

一生懸命取り組んできた。そんな自分の姿を、一番身近な先輩や先生方が見てくれた、そう思ったからだ。...

やろうと思っていたことができなかったり、やり始めたけれど、うまくいかなかったり。それでも、まわりで見守ってくれている人たちのアドバイスを受け、なんとか逃げずに、やり通す。...

受検に失敗したせいで来た、札工定時制。でも、僕を人間的に成長させてくれた札工定時制。これからは、周りの人たちの背中をさりげなく押してあげられるような人になって、身近な、そして大切な人たちと一緒に歩んでいきたいと思っています。ご静聴、ありがとうございます。



全国大会では奨励賞として  
「厚生労働省職業能力開発局長賞」  
を受賞!!

## 支部だより

志部  
後支

## 後志支部当番校として

北海道高等学校PTA連合会 後志支部長 佐藤 公寿  
(北海道小樽水産高等学校PTA会長)

後志支部は現在17校、19単Pが加盟しております。

6月5日に北海道高等学校PTA連合会の山本富造会長のご臨席を賜り、後志支部総会を開催しました。山本会長は一般財団法人北海道高等学校安全互助会理事長でもありますので、挨拶の際は互助会の取組や方針を熱く語っていただくとともに、高P連と互助会あわせて子どもたちのために限らない努力の手をさしのべるという決意を述べられました。議事も滞りなく進行し、参加者の皆様の理解を得られ閉会できました。その後の懇談会でもテーブルを越えて情報交換を行うことができました。

次に、11月6日には北海道高等学校PTA連合会後志支部健全育成事業並びに一般財団法人北海道高等学校安全互助会普及啓発事業として、高校生の心身の健康と安全に関する教育講演会をグランドパーク小樽にて開催しました。講演会には一般財団法人北海道高等学校安全互助会常務理事の原貴彦様と事務局長の井村美彦様のご臨席を賜り、P

TAだけでなく、生徒14名も参加する中、講師には元北海道日本ハムファイターズ投手で、現在野球評論家・解説者として活躍している金村曉氏をお迎えし、「環境、モチベーション、コミュニケーション能力」と題し、自身の高校時代、プロ野球入団当時などあらゆる経験から、現在の高校生に必要な事柄をわかりやすく、ユーモアを交えて講演され、高校生には身近な目標を掲げ努力することの重要性を力説しております。

また、金村さんは来年度から阪神タイガースの投手コーチという立場で、指導者として球界に復帰されますが、その前の最後の講演ということもあり、自身初の試みで講演後にパネルディスカッションを行いました。ディスカッションには金村氏のほか、教員代表1名、保護者代表1名、生徒代表2名が壇上に上がり、金村氏のマネージャーである海川明江様の司会進行で、各々の立場から目標に対する取組などについて、楽しく意見交換しまし

た。その後の懇談会では金村氏より野球界のウラ話やテレビ出演時のスタッフの支えなどの話をしていただけでなくともに、最後には金村氏が各テーブルに向き、記念撮影を行うなど、楽しく過ごすことができました。

来年度、当番校は岩内高等学校へとバトンタッチされますが、今後もこれまで以上に指導ご鞭撻をいただき後志支部の発展とともに、各種事業等が有意義なものとなるよう、変わらぬ一助を賜りたいと思っております。のようしくお願ひします。

路部  
釧支

## 横の結びつきを強化する支部活動の充実に向けて

北海道高等学校PTA連合会 釧路支部長 天方 智順  
(北海道釧路湖陵高等学校PTA会長)

釧路支部は、現在14校16単Pで構成されています。

普段は各単Pでそれぞれの学校行事への協力や、PTA主催の研修会等を中心に活動していますが、支部PTAとして会員及び管内高校生相互の結びつきを強めるために、5月の支部総会後の教育懇談会を含め、年に3回主催事業を行なっておりますので、その紹介をさせていただきます。

まず、9月5日(土)に実施した『健康安全普及事業』です。この事業は、会員が健康管理等についての知識を深め、健康への意識を高めることを目的として行なっています。

今年度も、昨年度に引き



続き、(株)コナミスポーツ&ライフ受託事業部東日本、湿原の風アリーナ釧路施設責任者の工藤太郎様を講師としてお迎えし、支部内高校から25名の保護者・教職員の方々が参加しました。

講師の工藤様からは初めに、「イメージとしてはピリズブートキャンプですが、去年よりは軽めのプログラムとなっています。」との説明がありました。実際に体験してみるとすぐに汗が噴き出し、昨年度からの参加者たちからも「去年よりもきつい。」との声が上がりました。約50分間のエクササイズを通して身体を動かした後の爽快感を味わうとともに、同じつらさを感じたことでの親しくなった他校からの参加者との再会を誓い、あちこちで笑顔で挨拶を交わしながらの解散となりました。

次に、12月15日(火)に実施した『生徒会』サミットです。平日の午後開催でしたので、保護者の方の参加は少なかったのですが、管内全課程の高校の生徒会

新執行部が一堂に会し、教職員・保護者と合わせて総勢100名で行われました。

生徒達は4人1組のグループに分かれ、初めに、スバゲティ、マスキングテープと紐、マシユマロを使って自立式タワーを作り、高さを競う「マシユマロチャレンジ」を行うことで、お互いの緊張を解きほぐしました。



次に各校の学校祭や体育祭などの特色を紹介し合うグループワークを行い、自校の行事に生かそうと積極的に話し合う様子が見られました。終了後には「普段他校の生徒会と交流する機会はありませんので、大変有意義だった」との感想が多数寄せられました。

今後とも釧路支部の活動に、ご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。ば、活動報告いたします。





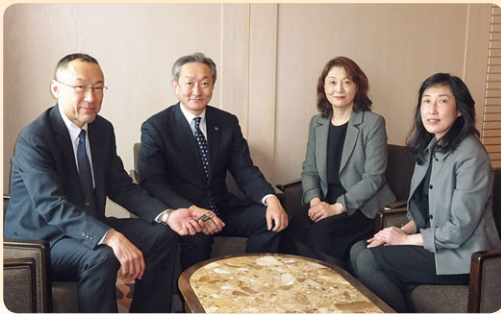
元気  
ですか！

山本会長

一問一答!!

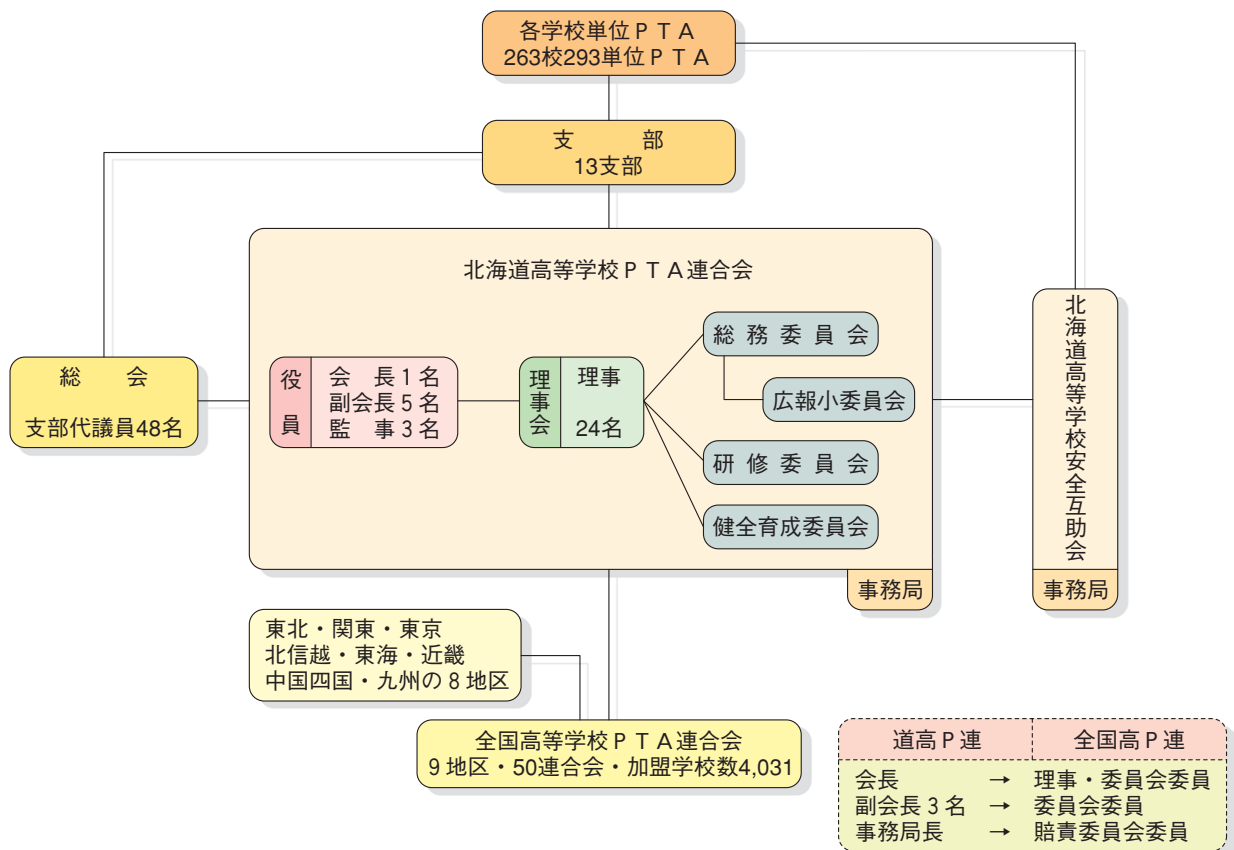
- ① 道高P連会長として目指すものは何ですか？  
 答： 全ては子供達のために、保護者として全力で活動することを目指しています。
- ② 自身の子育てで大切にしていることは何ですか？  
 答： 学校生活のこと、部活動のことを話題にして、毎日の会話を大切にしていきます。
- ③ 仕事とPTA活動の両立はどのようにしていますか？  
 答： 仕事は優先ですが、会社及び上司に理解してもらい時間を作り活動しています。更に、父親でも活動出来ることを、同僚や仲間にも、いつも伝えていきます。
- ④ 人生訓、大切にしている言葉はありますか？  
 答： 「元気あれば、何でも出来る」「子供達を思えば、何でもできる。趣味は？ プライベートでは？」
- ⑤ 休日、自ら台所に立ち美味しいものを作っていますか？

- ⑥ ご自身の高校時代で、一番記憶に残っていることなどは？  
 答： 男子高校でしたので、先生には少々迷惑をかけたことが記憶にあります。そんな私でも、子供たちのために今頑張っている。人間、変わるもんです。
- ⑦ 全国高等学校PTA連合会の理事をされていますが、具体的に話してください。  
 答： 進路対策委員会の副委員長をしています。昨年、「高校生と保護者の進路に関する意識調査」が行われ、報告書が全P連ホームページにアップされています。進路実現に向けての期待や不安が伝わる内容ですので、是非ご覧ください。
- ⑧ 最後に、今年度スタートした安全互助会について現況をお知らせください。  
 答： 今年度、共済事業に加入した生徒数は約6万6千人で、昨年度まで高P連で実施していた災害補償制度の加入数を1万3千人ほど上回り、お陰様で順調なスタートとなりました。相互扶助精神を皆様にご理解いただけたものと感じております。今後は来年度の加入校、加入率の増加に向け普及啓発に力を入れていきたいと考えております。皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



そもそもPTAって何だろうと思ひ、素朴な質問をしてみました。どれも即答、レスポンスの良し、元気一杯な、山本会長でした。

## 組 織 図



# 第二回理事会報告

日時 平成28年2月13日  
場所 札幌全日空ホテル  
出席者 役員・理事29名

## 各委員会報告

※理事会前に開催された  
委員会・審議内容等を  
各委員長から報告。

- ・総務委員長  
石狩・湊 修一理事
- ・研修委員長  
空知・小暮浩弘理事
- ・健全育成委員長  
根室・小野哲也理事

## 審議事項

一 平成28年度事業日程  
※例年2月開催の第二回  
理事会は前後の理事会  
の間隔を考え、学校が

多忙な12月を避け、11  
月末に開催。例年11月  
開催の支部事務局長会  
議は支部事務局長の負  
担大のため廃止。  
提案説明後、承認。

## 二 全道大会

(1)道南大会(平成28年度)  
・「大会主題」  
身近な人と結ぶ  
信頼の絆  
(2)空知大会(平成29年度)  
・平成29年6月10、11日  
・主管校 滝川西高校  
提案説明後、承認。

## 三 会則・会則施行細則等 規定改正案審議

①会則改正は「道高P連  
会員とは団体のことで  
あり、単P会員とは個  
人のことなので、誤解  
の生じる恐れがある表  
現を改める」ため。  
②会則細則改正は「会則  
改正と同様の理由」と  
「教頭会・事務長会を  
正式名称で表記する」  
ため。  
③会計事務処理規程改正  
は「日当支給基準微調  
整」「北海道に準拠」の  
ため。  
※「事務局職員就業規程」  
も③と同様に改正。  
④会計事務処理規程改正  
は「帳簿類の保存に合  
理的な対応をする」た  
め。  
●提案説明後、承認。  
※承認後、局長が、①の

会則改正は6月の総会  
に提案。それ以外は本  
日付け改正で、②は本  
日付施行、③④は平成  
28年4月1日施行とす  
る等の説明。

## 四 平成28年度役員選考委 員会委員選出

※委員長・委員選任を会  
長に委任  
●提案説明後、承認。  
※承認後、会長が「委員  
長に村上監事」を指名  
し、承認。委員は後日。

## 五 事務局関連事項

(1)次年度の事務局体制  
※次年度、道高P連と安  
全互助会の局長兼務の  
可否を検討・判断する  
ため、現任事務局長の  
任期を一年延長。  
●提案説明後、承認。  
(2)事務局職員就業規程改  
正。  
※事務局員の人材確保の  
ための給与改定は困  
難。そこで、勤務日数  
減で対応する。  
●提案説明後、承認。

## 六 平成27年度決算見込・ 平成28年度暫定予算

●提案説明後、承認。

## 七 各種ローテーション 提案説明後、承認。

報告事項  
一 全国状況等報告  
(1)年間行事日程

(2)千葉大会(平成28年度)  
・平成28年8月25、26日  
・第一分科会発表校  
恵庭北高校

二 選考委員会運用基準の  
改正について  
※事務局長が「役員の  
新旧交代を図るため」等  
の説明。

## 三 広報小委員会報告

※新井田副会長が「道高  
P連だより」の発行に  
ついて説明。今後、年  
3回から年2回へ、発  
行・配布部数の削減、  
ホームページの活用等  
を検討。

## 四 本日までの会務報告

## 五 賠償制度について

※全国高P連賠償責任補  
償制度について、東京  
海上日動・加藤篤氏が  
説明。その後、若干の  
質疑応答あり。

諸連絡等  
一 役員・理事・支部長校  
等の交代時期

二 総会の支部代議員選出  
について  
※事務局長から「支部代  
議員が欠席せざるを得  
ない場合、可能な限り  
支部役員が代理出席を  
していただきたい」旨  
のお願いがあった。

## 三 北海道高等学校安全互 助会関連事項

## 四 その他



## 編集 後記



広しい北海道で、キ  
ラリと輝く高校生ひと  
り一人の顔をイメージ  
しながら、少しでも多  
くの皆さんに伝わる紙  
面にしたいと思いい  
戦苦闘の編集作業でし  
た。

編集委員各位、歴代  
先輩から引継いだ、明  
るく、楽しく、分かり  
易い紙面を目指し、時  
には脱線しつつも、笑  
い溢れる仲間と、精一  
杯頑張った紙面です。  
時代の流れとともに  
に、紙からネットへと  
媒体は多様になると  
思いますが、広報の役  
割は普遍です。道高P  
連広報委員として、一  
人でも多くの方に関心  
を持っていただけるよ  
う、一同頑張りますの  
で、ご理解ご協力をお  
願ひいたします。





## 第66回 全国高等学校PTA連合会大会 千葉大会(案)

### 【大会趣旨】より抜粋

戦後70年を経て、わが国では、少子化、高齢化が他国に例を見ないスピードで進み、若者の都市部への流出が続く地方では、人口の減少が深刻な問題となっています。

社会や家族のあり様が変化中、地域における子どもと大人の交流の場も少なくなり、子どもや家庭の孤立化が進んでいるとも言われています。さらに、スマートフォンなどの情報端末が急速に普及し、コミュニケーションの多くが、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を介して行われるようになり、社会的な問題も生まれています。

一方学校は、生徒が集団で学び合う場です。表情を見て、相手の心情をくみ取る力が育ち、心の通うコミュニケーションが生まれてきます。

今こそ原点に立ち戻り、人と人との「ふれあい」、「かわりあい」として「つながり」の大切さを、再発見しようではありませんか。

千葉大会のテーマは、「再発見！愛」～今こそ信じよう愛の絆～です。

### 大会テーマ メインテーマ

## 『再発見！愛』

### サブテーマ

～今こそ信じよう愛の絆～



## ● 日 時 平成28年8月25日(木)・26日(金)

時 間	8月25日(木)	時 間	8月26日(金)
8:30	受付 8:30～9:00	8:30	受付 8:30～9:00
9:00	アトラクション 9:00～9:30 (30分)	9:00	アトラクション 9:00～9:30 (30分)
10:00	開会式・表彰式 9:40～10:40 (60分)	10:00	分科会の報告 9:30～9:50 (20分)
11:00	基調講演 10:50～11:50 (60分)	10:00	記念講演 10:00～11:10 (70分)
12:00	移動・昼食・アトラクション 12:00～13:00 (60分)	11:20	閉会式 11:20～12:00 (40分)
13:00	分科会 受付 13:00～13:30 13:30～16:00 (150分)		
	テ ィ マ		会 場
	全国高P連研究発表 進路関係研究発表 幕張イベントホール		
14:00	第1分科会 学校教育とPTA 国際展示場9ホール		
	第2分科会 進路指導とPTA 国際展示場2ホール		
	第3分科会 生徒指導とPTA 国際展示場3ホール		
15:00	第4分科会 家庭教育とPTA 国際会議場 コンベンションホール		
	特別第1分科会 学校の危機管理とPTA アパホテル東京ベイ幕張・幕張ホール		
16:00	特別第2分科会 情報機器と学校教育 ホテルニューオータニ幕張・鶴の閣		

千葉県高等学校PTA連合会ホームページ

<http://www.chikoupren.jp/>

第66回全国高等学校PTA連合会千葉大会紹介ページ

<http://2016chibataikai.com/speech.html>

## 平成28年度 北海道高等学校PTA連合会 第66回大会(道南大会)開催要項

- 主 催 北海道高等学校PTA連合会
- 後 援 北海道教育委員会 北海道高等学校長協会 函館市  
函館市教育委員会
- 主 管 北海道高等学校PTA連合会道南支部
- 主 管 校 遺愛女子高等学校
- 期 日 平成28年6月11日(土)・12日(日)
- 日 程

日	内 容	時 間	会 場
	安全互助会評議員会	9:30～10:20	函館国際ホテル
	道 高 P 連 総 会	10:30～12:00	函館国際ホテル
11日(土)	受 付	12:00～13:00	
	開 会 式・表 彰 式	13:00～14:00	函館国際ホテル
	講 演	14:00～15:30	
	懇 談 会	17:00～17:30	函館国際ホテル
	開 会	17:30～19:00	
12日(日)	受 付	9:00～9:30	遺愛女子高等学校
	分 科 会	9:30～12:00	市立函館高等学校

- 会 場 函館国際ホテル 他

- 大会主題 「身近な人と結ぶ信頼の絆」

趣旨 「善意」と「悪意」が平然と混在する仮想空間で迷

子になり、時間を浪費し、トラブルを起こし、人間性を問われる人が増えています。

子供たちの健全な成長を願う私たちは、顔の見えない仮想空間ではなくお互いの顔が見える家庭や学校等で培われる「身近な人と結ぶ信頼の絆」こそが子供たちの温かい支えになるという共通の思いを胸に、本音で語り合ひましょう。

### ●大会メッセージ

『抱える問題に一生懸命取り組んでいる各校のPTAの皆様、時に肩の荷を下ろして一息つくことも大切です。異国情緒あふれる街並みを散策し、宝石をちりばめたような夜景を楽しみ、ゆっくり温泉につかり、おいしいイカ刺しに舌鼓を打てる函館で、「まったり、ゆったり、ほっこり」しながら語り合ひましょう。』

### ●部会構成と研究協議

40分科会で実施

- 講 演 演題 ……「不まじめ介護で重荷を下ろして」

講師 ……「田辺 鶴瑛」 講師(卒業生)

- 費 用 参 加 料 4,000円、集 録 代 1,000円、懇親会費 5,000円

- 参加申込 送付先 (株)JTB北海道 函館支店  
「第66回北海道高等学校PTA連合会大会(道南大会)」係  
〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一生命ビル1F  
TEL 0138(56)1711 FAX 0138(56)6898

- 申込み切 平成28年4月22日(金) 必着

- 事務局 遺愛女子高等学校内 高P連第66回大会(道南大会)事務局

〒040-8543 函館市杉並町23-11

TEL 0138(51)0418 FAX 0138(51)7150